

中野区立小中学校施設整備計画（案）に関する意見等について

1. 意見聴取した関係団体等

- ・小学校 PTA 連合会
- ・中学校 PTA 連合会
- ・町会連合会
- ・区立小中学校長会

※ その他、教育委員会ホームページで意見等を募集

2. 主な意見・質問とそれに対する回答

(1) これからの学校施設整備について

質問	回答
地域施設等との併設や複数の学校での共同利用するについて、具体的に想定している施設等はあるのか。	地域施設等との併設は、子どもたちが施設の利用者との交流ができ、また、施設を共同利用することで敷地を有効活用できるメリットがある。具体的には、改築等にあたり検討していく。
この施設整備計画（案）は、大規模改修・改築のための計画なのか。また、個別の改修計画はないのか。	この施設整備計画（案）は、大規模改修・改築のための計画である。特別教室の冷房化やトイレ改修などの個別の改修は、この施設整備計画（案）を踏まえ、計画的に進めていく。
<p><意見> 改築にあたっては、学校施設の一般開放や目的外利用を考慮し、区民が利用しやすく、子どもたちの安全が確保できるよう施設配置や動線を検討してもらいたい。</p>	

(2) 改修・改築にあたっての課題について

質問	回答
昨年度、再編対象校と建築後 50 年を経過した学校については、耐力度調査を実施したが、なぜ全校を調査しなかったのか。	大規模改修と改築に必要な経費や耐力度調査の結果による補助金等の活用など、今後の学校施設の施設整備計画の策定に向け耐力度調査を実施したものである。他の学校についても、今後、建築後 50 年を迎える時期に耐力度調査を実施していく。
耐力度調査を実施していない学校の耐力度は、建築後 50 年を経過し耐力度調査を実施した学校より高いと考えてよいか。	耐力度については、一概には言えないが、一般的には経年劣化により低くなるので、築年数が 50 年未満の学校の方が高いと考える。
特別支援学級の仮校舎への設置については、配慮してほしい。	特別支援学級の仮校舎への設置については、十分配慮していく。
仮校舎に移転する時期に指定校変更を特例として認めてほしい。	仮校舎は工事期間中だけのため、指定校変更を特例として認める予定はない。
<p><意見> 工事期間中の仮校舎までの通学距離や安全対策について、PTA や保護者などとも相談しながら十分に対応を図ってもらいたい。 仮校舎までの通学距離が長くなるので、スクールバスの運行や路線バス利用による通学を認めることなどについて検討してほしい。</p>	

(3) 小中学校施設整備計画について

質問	回答
大規模改修・改築に向け、今後説明会等は開催するのか。	大規模改修・改築が計画されている学校ごとの説明会等は、適切な時期に開催する。
仮校舎の改修内容について、記載されていないが、どのような改修を行うのか。体育館の雨漏りなども改修してもらえるのか。	仮校舎の改修は、仮校舎として必要となる教室の整備を行うが、必要に応じた改修もしていく。
大規模改修の前に体育館の冷房化はできないのか。	大規模改修にあわせて設置していくことが、最も効率的である。
<意見> 大規模改修・改築まで相当の期間があるので、それまでに必要な改修はしてほしい。	

(4) 標準仕様について

質問	回答
標準仕様は、大規模改修にも対応しているが、既存の教室面積は広くなるのか。	大規模改修の場合、既存の校舎を活用し、建物の柱、壁等の躯体を変更しないため、教室面積は、現在の教室面積と同じである。
標準仕様では、これまでの木工室と金工室を技術室、被服室と調理室を家庭科室の1室にするというが、どのような工夫により行えるのか。	技術室・家庭科室の面積を広げにし、技術室では、木工用・金工用の機械を置くスペースと作業机を置くスペースに分ける。また、家庭科室では、壁面、窓面に調理台を置き中央部に被服や食事のできる机を置くなど工夫していく。
中学校の家庭科室は、衛生面・安全面や使い易さなどから被服と調理の2室にした方がいいと思う。	家庭科の授業時数は少なく、教室の稼働率も低いことから1室とする。また、最近、改築した他区においても、家庭科室を1室にしているが、学校運営上問題はないということである。
標準仕様の目的は、シンプルでコンパクトな学校施設を目指すとしているが、要するに経費の削減だけを目的としているのではないのか。児童・生徒のため安全な施設に向け、施設整備を進めるべきではないか。	限られた敷地の中で、効率的効果的な施設整備を行うことや今後、展開される教育活動に相応した施設や設備が確保できるように標準仕様を定めた。 なお、施設の安全面については、十分配慮して整備を進めていく。
今後、小中学校の全学年で35人学級に移行していくと思われるが、標準仕様の変更等はないのか。	現時点では、40人学級を想定して標準仕様を定めた。なお、今後、社会状況の変化や教育活動の変化などを踏まえ、必要に応じ標準仕様等の見直しも行っていく。
<意見> 将来的に無線LANにより、普通教室などを活用してコンピュータ授業を行うとのことだが、そのためには、児童・生徒の全てがノート型PC等を持つ必要がある。また、プリンターやサーバーをどうするのか。ノート型PC等の移動や充電を考える必要もある。これらのことを十分考慮して検討を進めてほしい。	